

国内初、ヤマダ・エスバイエルホームと一般住宅市場向け血流認証技術を活用 した IoT システムを本格販売開始のお知らせ

～少子高齢化社会に貢献する安心、安全、便利を実現するホームオートメーション技術を実現～

当社は、株式会社ヤマダ・エスバイエルホーム（群馬県高崎市 代表取締役社長 宮原 年明 以下「YSXLH」）と提携し、バイオニクス株式会社（大阪府大阪市 代表取締役社長 須下 幸三 以下「バイオニクス」）の血流認証技術を核とした国内初の一般住宅向け IoT システムの本格販売を開始します。

当社と YSXLH は、2015 年からバイオニクスが長年に亘り住宅市場でノウハウを蓄積してきた血流認証技術（※1）に注目し、戸建て住宅を中心に鍵やカード、暗証番号を保有することなく、人の指のみで家の玄関扉が開錠できる仕組みを構築、その発展形として血流認証と HEMS（※2）およびインターネット環境と接続することで、人の出入りに応じて設備操作や遠隔での監視や見守りができる技術を研究、開発をしてまいりました。

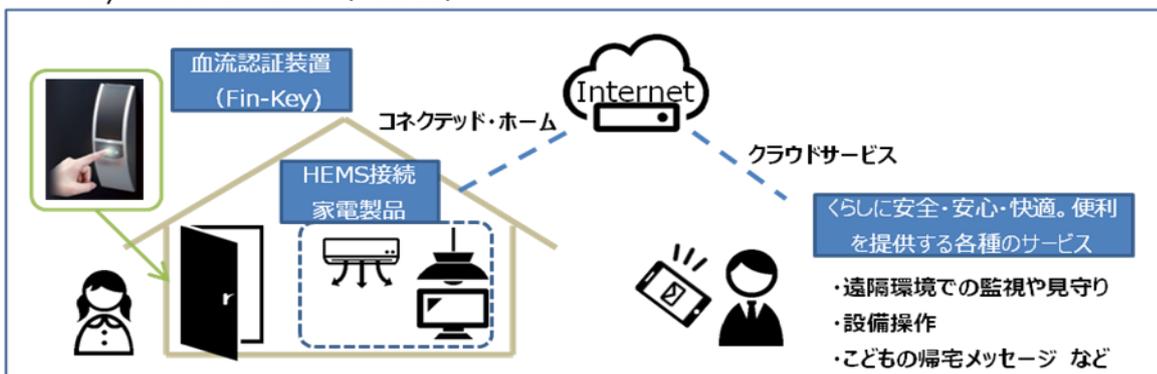
血流認証装置を使用することで家の鍵を開けると同時に、誰が帰宅したかが判断できます。この「誰」という情報を利用して、その人に応じて特定の照明やエアコンなどの電源を自動で ON にしたり、子供の帰宅を自動メールで共働きのご両親に知らせたりということができるようになります。

この度、血流認証技術を核とした IoT システムの第一世代の開発が完了、住宅設備がインターネットに接続した住宅（コネクテッド・ホーム）を実現し、暮らしに安心・安全・快適・便利を提供するサービスプラットフォーム（以下概念図を参照）の本格販売を開始します。

長瀬産業、YSXLH、バイオニクスの 3 社では、今回の取組みを「Fin-Key・NEO プロジェクト」と命名し、コネクテッド・ホームの実現に向け、段階的にサービス展開してまいります。

【概念図】

Fin-Key・NEOプロジェクト（概念図）



※1

人体の指先の血管を流れる血液内のヘモグロビンを撮影、画像処理し、個人を特定する技術。
指紋認証など他の生体認証と異なり体内情報を使用するためコピーされにくくセキュリティ性が高い。

※2

HEMS (Home Energy Management System)

家庭内の設備をネットワークでつなぎ、電源のオン・オフ、利用状況の見える化などを実現したシステム

長瀬産業株式会社

1832年京都で創業した化学系専門商社。20以上の国に約100のグループ会社を持ち、従来の商社機能に加え、製造・加工機能と研究開発機能の融合によりユニークで付加価値の高いビジネスモデルを展開しています。

株式会社ヤマダ・エスバイエルホーム

1951年創業の住宅メーカー。伝統「小堀」の高級注文住宅に加え、ヤマダ電機グループの一員として高品質のスマートハウスを展開しています。

バイオニクス株式会社

2001年設立の血流認証装置メーカー。血流認証技術を自社開発し、法人セキュリティー市場及び、住宅市場にて約5,000ゲートの実績を持つ。鍵やカードを持たなくてよい安心、安全な生活をご提供します。

■製品に関する問い合わせ先

長瀬産業株式会社 電子資材事業部電子資材一部
TEL. 03-3665-3059 担当：志賀

■マスコミからのお問い合わせ先

長瀬産業株式会社 財務部 商事法務・広報課
TEL. 03-3665-3028 担当：田村